

今年、はじめての洪水調節を実施

- ・梅雨入り後（6月12日に梅雨入り）、本格的な降雨があり、今年のはじめての洪水調節操作を行いました。
- ・操作においては、緑川ダムへ入ってくる水量の一部を貯める（洪水調節）ことで、下流へ流す水量（ダム通過量）を最大流入時に約8割に抑えました。

- 梅雨前線の影響により、緑川ダム上流域では6月27日13時頃から雨が降り始めました。29日早朝より激しさを増し、8時から9時までの時間雨量で36.6mmを記録しました。
- 緑川ダムでは、ダムに入ってくる水量（流入量）が毎秒500立方メートル（洪水調節開始流量）に達した6月29日10時08分から、ダムへ入ってくる水量の一部を貯める操作（洪水調節）を開始しました。
- その結果、6月29日11時頃、緑川ダムへの最大流入量毎秒712立方メートルのうち、毎秒116立方メートルをダムへ貯留することで下流へ流す水量を毎秒596立方メートルまでに低減する操作を行いました。その結果、甲佐町の「中甲橋水位観測所」で最高水位を0.16m低下させたものと推定されます。
- ダム上流域の降雨及び洪水調節の状況は下表に示すとおりです。

項目		数値	備考
ダム上流域	総雨量	177.6mm	6/27 13:00～6/29 18:00
	平均雨量	最大1時間雨量	36.6mm
緑川ダム	最大流入量	毎秒712立方メートル	6/29 11:12頃
	最大流入時放流量	毎秒596立方メートル	最大流入量の約8割
	最大流入時調節量	毎秒116立方メートル	
	ダム使用容量	100万立方メートル	
中甲橋※ 水位 観測所	観測最高水位	2.84m	水位危険度レベル1
	ダムが無かった場合の 最高水位(推定)	3.00m	水位危険度レベル2
	洪水調節による 水位低減量(推定)	0.16m	

※中甲橋水位観測所：河口から約26km900上流、緑川ダムから約15km下流

※ 本資料は、緑川ダムダム管理所ホームページ（以下のアドレス）に掲載しています。

<http://www.qsr.mlit.go.jp/midori/>

※ 速報値のため各数値は変わる場合があります。

〔お問い合わせ先〕

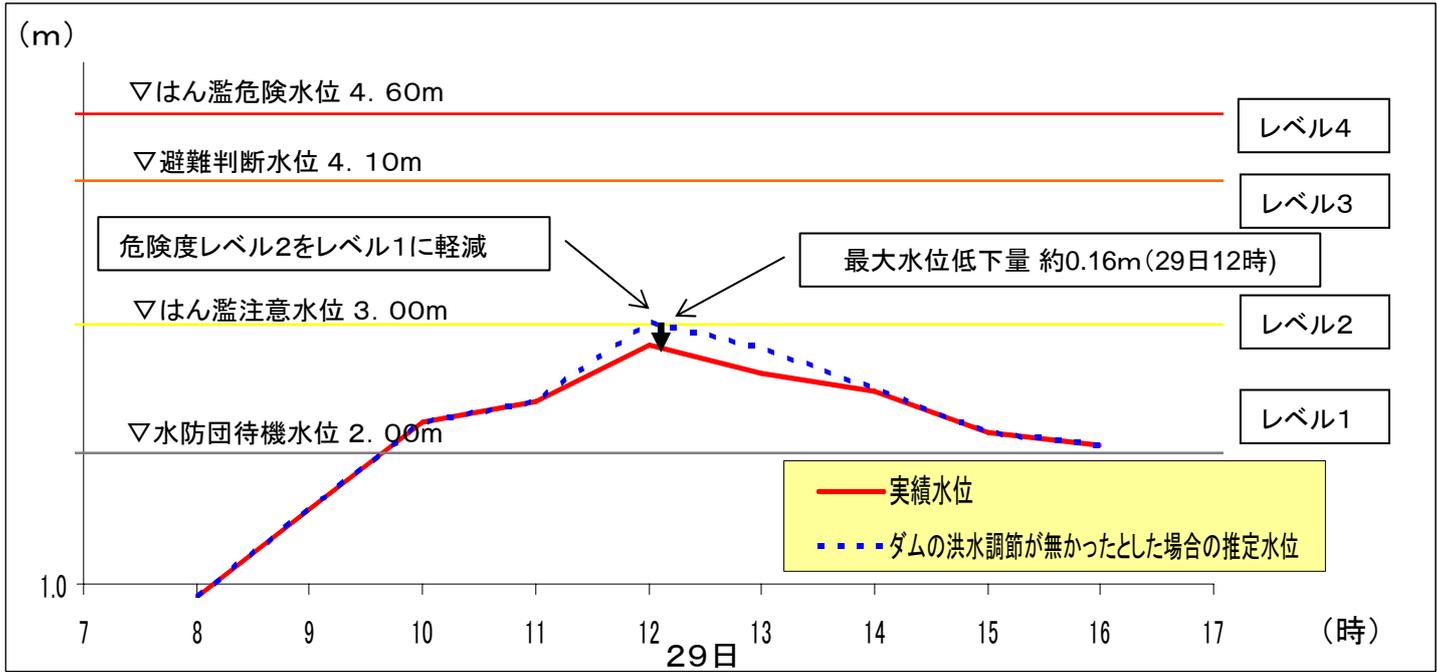
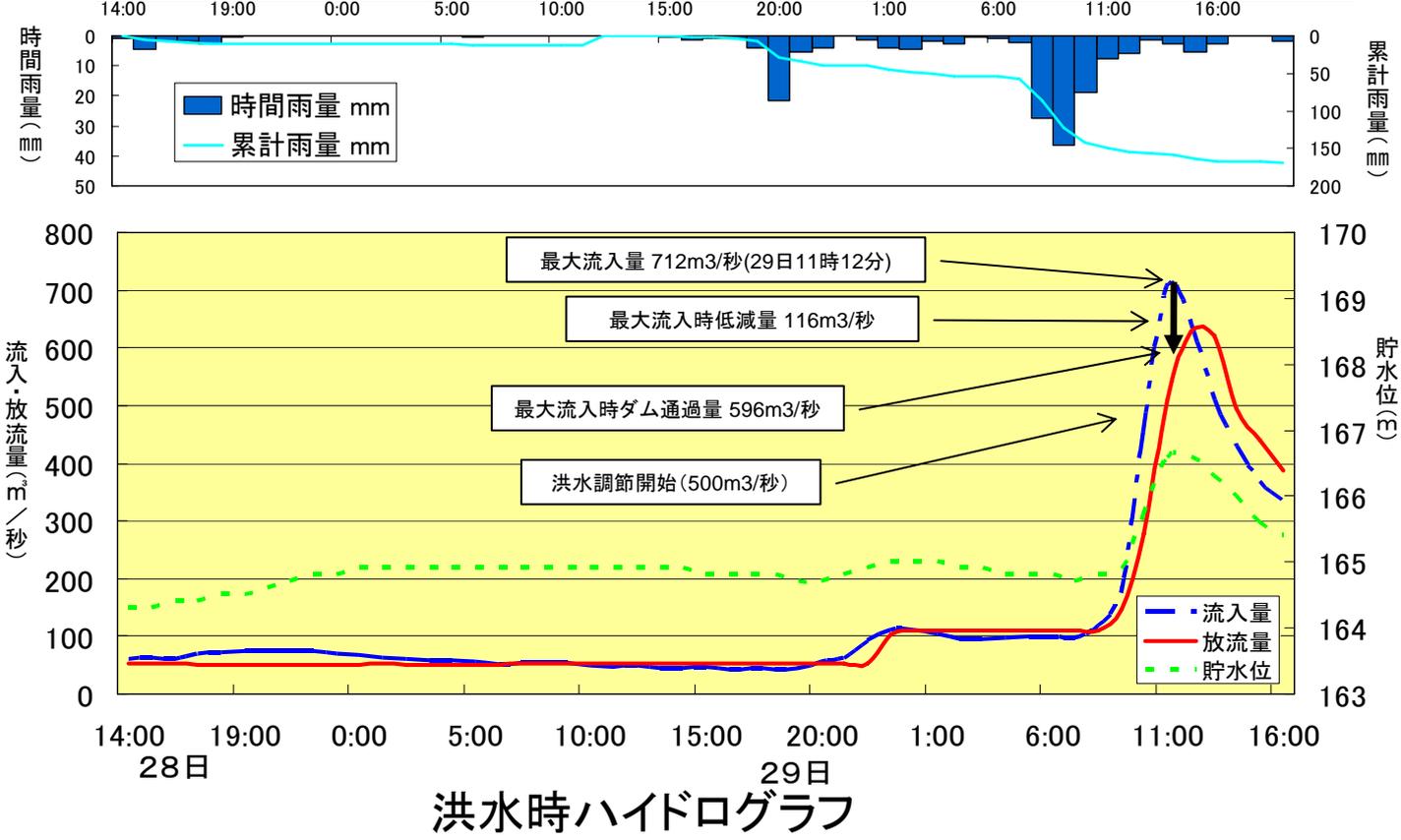
国土交通省 緑川ダム管理所

TEL：(0964)48-0216

所長：高尾 秀敏 管理係長：山本 恭裕

緑川ダムの洪水調節状況(1)

最大流入時のダム通過量を約8割に抑え、 下流の水位危険度を軽減



ダムによる水位低減効果(中甲橋)

緑川ダムの洪水調節状況(2)

最大流入時のダム通過量を約8割に抑え、 下流の水位危険度をレベル2からレベル1に軽減

緑川ダムの洪水調節の様子
平成22年6月29日11時頃

